



① 免許取得費用補助

喫緊の課題であるドライバー不足に対応するため、免許取得費用、特例教習受講費用に対する補助を行った。

【補助対象】 免許取得（大型、中型、準中型）、特例教習受講にかかる教習料、検定料、教材費 等
令和6年4月1日～令和7年1月31日までに取得、受講したものが対象（～2月28日まで申請受付）

【補助率】 1／3（上限なし）

申請状況（令和7年1月末時点）

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計
大型免許	20	16	13	9	2	60
中型免許	15	3	1			19
準中型免許	7					7
特例教習	1					1
計	43	19	14	9	2	87

- ・30代以下が71.2%となっており、若年層の採用を後押しすることができた
- ・全体の約半数が令和6年度の新規採用



② 働きやすい職場環境の重要性を学ぶ、経営者向けトップセミナーを開催

9月25日(水) 14:30~16:00

講師：(株)田島運輸(大阪府)

取締役 戸川一秋氏

女性ドライバーの活躍促進 当社の取組

社労士を社内取締役とし女性の働き方に特化した業務体制を構築、離職率の大幅な低下に成功。企業主導型保育所数か所と連携し、自社運営でなくとも優先利用ができる環境を確保し新規採用につなげている。

参加者数：20社23名



③ 県内で活躍する現役女性ドライバーを紹介するウェブブックと動画の公開

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/10540/jyoseijyoumuinhenomiti.html>にて公開中



仕事もプライベートも充実! ずっと働きたい

午前3時半。まだ夜が明ける前に仕事は始まります。6トントラックに一人乗り込み、大分市立型地方卸市場へ向かいます。青いトラックを走らせ、県内各地のスーパーへと届けるのが日々の仕事です。

まゆみさんは中学生の頃、地元でダンブカーを運転と運転する女性を度々「カッコいい」と憧れるようになったと振り返ります。23歳で念願のトラックドライバーになりました。

大量の荷物をトラックに積み込んだ時、目的地に無事に荷物を届けられた時、「1日に何度も達成感を味わえる」と仕事のやりがいを感じます。

1日の走行距離は約240km。「運転することが好きなので、大変だとは思いません」。運転中は好きな音楽を聞いたり、口ずさんだりして過ごします。「一人の時間を大切にすることもこの仕事の魅力」。

職場の上司や仲間とは何でも言い合える関係だそうです。休日の楽しみは家族と遊ぶこと。「仕事とプライベートが両立できています。長く働きたい」とまゆみさんの笑顔からは日々の充実感が伝わってきます。



大分県 女性 ドライバー で検索!





自動車運送事業者乗務員確保対策事業

R6の取組内容

④ 女性ドライバーとの交流会の開催

開催日：10月25日（金）10:00～12:00

参加者：一般女性10名（30～40代）

女性ドライバー3名

（大分バス、ハーネスタクシー、コープサービスおおいた）

企業の採用担当者等（バス2、タクシー3、トラック2）

【参加者の声】

- 子育て中なので働けるかな、と不安をもっていたが、休みがとりやすいと聞き働くイメージができた（タクシー）
- 大型バスの運転は半年近い教習があると聞き安心した（バス）
- 荷物の運搬が大変なイメージだったが、機械化が進んでいると聞き女性でもできると分かった（トラック）



【取組の総括と次年度への課題】

- 参加者、企業には好評であり、マスコミにも取り上げられ、PRできた
- 女性かつドライバーに興味のある求職者という対象に呼びかけること自体が難しく、参加人数が伸びなかった

R7の取組予定内容

- 大分駅前広場などにてオープンイベント形式での交流会を検討中

より多くの県民に女性ドライバーの活躍を知ってもらい
業界のイメージアップに繋げることで採用増を目指す

未来の女性ドライバーを応援する
BUS・TAXI・TRUCK

ドライバーズ キャリアカフェ

～交流・就職相談会～

10/25
2024

に開催しました！



バス・タクシー・トラック業界に関心のある女性を対象にしたイベント「ドライバーズキャリアカフェ」が大分市のJ:COMホルトホール大分で開かれました。現役の女性ドライバーと企業の人事担当者も参加し、来場者と交流しました。



女性ドライバーの話を熱心に聞く参加者

女性ドライバーの座談会
職場環境の良さを紹介
イベントは大分県内で活躍する女性ドライバーの生の声を通じて仕事の魅力を知ってもらおうと、大分県が主催しました。大分バスの高橋里奈さん、ハーネスタクシーの二宮美紀さん、コープサービスの西田春香さん（トランクで配送担当）による座談会では、それぞれがドライバーを志したきっかけや業務内容、労働環境などについて話しました。

子どもの頃からバスの運転手になることが夢だったという高橋さんは、しっかりと研修があり、運転レベルに合わせた教えてくれます。小売業から転職した二宮さんは「隔日勤務のため、1日休みを取れば3連休・ライブなどの『推し活』に助わるのもいいです」と魅力を紹介しました。入社2カ月の西田さんは「不安はあったけど、事務所の皆さんが明るく迎えてくれて一緒に働きたいと思いました」と職場環境の良さに触れました。

企業のPRタイムもあり、亀の井バス、大分第二交通、豊タクシー、シティタクシー、中津急行、カリツー九州の6社が人材獲得に向けてアピールしました。



司会の荒金由希子さん

美味しいスイーツを味わいつつ

現役ドライバーさんに質問タイム



カフェ内で限定スイーツを飲みながら、話に花が咲く参加者たち

女性ドライバー3人や企業7社の担当者を交えた交流・就職相談の場もありました。リラックスした雰囲気の中、業界に興味を持つ女性らが「必要な免許はどのくらいの期間で取れますか」「育児との両立はできますか」などと率直に質問。ドーナツを食べながら、情報を交換しました。